

すくすく育で

乳 幼 児 検 診

平成 24 年 11 月 16 日＝千寿苑

1歳児
健診

7ヶ月
健診

えびす様喜ぶ！

淡路人形座が清和小で公演。児童が体験。

清和文楽人形浄瑠璃のルーツと言われる、兵庫県淡路市の淡路人形浄瑠璃。その伝統を今に引き継ぐ「淡路人形座」の公演が12月3日、清和小学校体育館で開かれました。

これは、文化庁の「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として行われたものです。

この公演で、4・5年生が太夫と人形遣いで初舞台を踏みしました。4・5年生は、6月に淡路人形座の方々から太夫と人形遣いについて学習、この日のために練習を重ねてきました。太夫体験では、「朝顔日記大井川の段」で見事な義太夫節を披露。「えびす舞」で人形遣いに挑戦した5年生4人も、えびす様に上手にお酒を振る舞う演技を披露。気分を良くしたえびす様は「バスケットボール部が優勝するように」と願いを込めた舞を披露しました。人形遣いを体験した亀谷幸祐くんは「重くて抱えているのがつらかったけど、なんとか終わってほっとした。人形を動かすのは楽しかった」と感想を語りました。

最後に、淡路人形座による「本朝廿四考（ほんちょうにじゅうしこう）奥庭狐火（おくにわきつねび）の段」の上演がありました。鑑賞した全児童は、三味線と琴の演奏、義太夫節、そして人形と人形遣いの早替わりと、迫力の舞台に感動の表情を見せていました。



①太夫体験で義太夫節を披露する4・5年生の児童
②淡路人形座による伝統の人形浄瑠璃
③6年生も人形体験をしました。
④人形の解説は、みんな興味津々です。

大阪でいろいろしゃいませ！ — 蘇陽中2年が山都町をPR —



ふるさとキャラバンに参加した、蘇陽中学生と関係者



くまモンと一緒に特産品を販売する蘇陽中学生

虹の通潤館の山本義信館長から販売方法を学びました。

蘇陽中学校の2年生が修学旅行先で山都町を売り込みました。旅先で職業体験しながら、郷土の良さをPRする同校の「ふるさとキャラバン」の取り組みで、昨年到现在2回目です。

12月5日、大阪府豊中市の商業施設「せんちゅうパル広場」を訪れた生徒は、揃いのハッピーをはおり、町の特産品（町内の物産館で取り扱っている里芋、大根、ブルーベリージャム、矢部茶、矢部高校生徒作のゆずマーマレードなど28品目）の販売や観光パンフレットの配布に汗を流しました。

事前研修で、販売方法などを学んでいた生徒は、「熊本県山都町の安全でおいしい農産物です。ぜひ、食べてみてください」などと、道行く人たちに元気に声をかけ、笑顔で特産品の特徴を説明し、販売に繋げていました。

会場には、生徒を応援しようと、関西矢部会（吉見猪之助会長）、関西熊本県人会連絡協議会（牛島一成会長）、熊本県大阪事務所（本坂道所長）など、熊本県ゆかりの大阪在住団体の方々も駆けつけてくれました。

特産品の売上金の一部は、平成24年夏の九州北部豪雨で被災した、阿蘇市の学校に図書購入代金として寄贈される予定です。

たかが玉入れ、されど玉入れ！？ ～第1回山都町玉入れ（AJTA）大会～

今年の町民スポーツ大会で行われた玉入れを覚えていますか？100個の「玉」を頭上のかごに入れる時間を競うもので、とても盛り上がった競技のひとつでした。

11月25日、その玉入れ（AJTA）大会が中央体育館で開催されました。山都町では初めての開催となったこの大会には、支部体協や職場仲間、家族・友人で結成された19チームが参加。1次予選、2次予選、決勝と、制限時間内の緊迫した玉入れを展開しました。

優勝は、県天草地域振興局の職員を中心とした「チームくまモン」。昨年、玉入れの九州大会で優勝したメンバー3人を含む強豪が、その強さを見せつけて勝利。代表を務める杉本和貴さんは「天草でも競技人口が増えてきて、各地で広がりを見せつつあります。山都でも盛り上がって、交流が深まればうれしいですね」と語りました。



優勝したチームくまモン

成績（タイムは決勝時）	
①チームくまモン	24秒16
② bearevers	36秒92
③御岳体協	47秒35